守谷市教育委員会定例会 令和6年9月

1 日 時 令和6年9月25日（水） 午後1時30分～

2 場 所 守谷市役所 全員協議会室

3 出席者 教育長職務代理者 河原 健
 教育委員 椎名 和良
 教育委員 寺田 弘
 教育委員 萩谷 直美

4 欠席者 教育長 町田 香

5 説明のための出席者

教育部長 小林 伸稔
 教育部参事 古橋 雅文
 教育部次長兼生涯学習課長 福島 晶子
 学校教育課長 前川 優子
 教育指導課長 村松 静
 給食センター長 鈴木 林
 中央図書館長 平塚 恭子
 事務局員（学校教育課長補佐）坂本 朋夫

6 傍聴人 なし

1	開会宣言 教育長職務代理者	午後1時30分 開会を宣言
2	会議録署名委員の指名 教育長職務代理者	議事録署名人に萩谷委員を指名する。
3	議決事項 教育長職務代理者 学校教育課長	議案35号「教育委員会の点検・評価結果報告書の提出について」説明を求める。 本議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、市民に対する説明責任を果たすとともに、本市教育行政の充

実を図るため、本年3月の定例会において可決された点検・評価の実施方針に基づき、本市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価の結果に関する報告書、こちらを作成しましたので、市議会への報告及び市民への公表について承認を求めるものです。

今回の点検及び評価は、令和5年度の事務を対象としたものとなっております。

報告書の作成に当たりましては、まず市内各校及び教育委員会の各部署において、昨年度取り組んだ内容についての自己評価を行い、その結果を基に5月に報告書案を作成いたしました。

自己評価を行う上で、学校評価につきましては、学校が毎年度設定するグランドデザインの中に記載されている教育目標の達成のため、五つの学校教育プランごとにどのような目標を設定し、どのようにそれを達成したか、今後どうしていくか、外部からどのような御意見を頂いたかという4項目について、数値を使用して評価してもらうようお願いいたしました。

達成度合いについては、県立学校で使用している基準を採用いたしました。

また、委員会内各課での自己評価につきましては、新しい教育大綱で定められた分野ごとに、令和5年度に特に重点的に取り組んだ事業の評価と、施策全般の進捗状況が分かるよう施策に含まれる全事業の評価とに分けて実施いたしました。

また、学校評価と同じく施策の達成状況が分かるよう、こちらも県教育委員会の点検・評価で使用されている達成基準を採用いたしました。

これらの報告書案につきまして、点検・評価委員の皆さんに御確認をいただいた上で、第1回目の点検・評価委員会を6月12日午後3時30分から、中央図書館視聴覚室において開催いたしました。

会議当日は、事前に頂いた質疑に対する回答や

補足説明をそれぞれの所管課から説明し、意見交換を行いました。

また、2回目として7月17日に、学校施設及び社会教育施設の視察として、令和5年度に改修工事を行っている御所ヶ丘小学校、御所ヶ丘中学校、郷州公民館を見学していただき、最終的にそれらを踏まえた上で御意見、御提案を頂いて、本議案の報告書を作成いたしました。

なお、学校評価結果につきましては、これまでと同様、教育委員会の点検・評価報告書を作成するための資料とし、公表するものではありません。

教育委員会の点検・評価結果の報告書につきましては、本日、皆様から承認が得られましたら市議会に提出し、市のホームページで公表していきたいと考えております。

なお、事前に河原委員から指標内容について御意見を頂き、担当課と調整した結果、学力に関する成果指標、全国学力・学習状況調査で全国平均正答率を上回っている児童生徒の割合、こちらにつきましては、全国学力・学習状況調査で全国平均正答率を市平均正答率が上回っている教科の割合に訂正いたしました。

また、ICTを活用した教育の推進の成果指標につきましては、実績に比べて令和6年度の見込み値が低く、目標値とも整合性が取れない状況であったものを実績に整合させて、これまで目標値が60パーセントであったところを90パーセントに変更し、それに伴って達成度もBからAに修正させていただきました。

成果指標につきましては、そもそも各事業の目的達成度を示すことのできる適切な指標とするべきですので、次回以降、点検・評価委員の皆様へ提示する前に、きちんともう一度精査していきたいと考えております。

<p>椎名委員</p>	<p>これからの目標は、ニューノーマルなどというところでは、全国学力・学習状況調査をプラス11にする、なかなか力説しているなどと思ひまして、学校だから学力つけるのが一番大事なことなので、まず、これに向けて頑張ってください。</p> <p>課題としましては、いじめ防止対策、不登校対策。これはなかなか学校教育だけでは間に合わないの、いろいろな施設と連携しながら少しでも改善できるように、今後、市を挙げて取り組んでいただきたい。</p> <p>生涯学習課としては、部活動の地域移行。これがやっぱり大きな課題で残っている。いい面と悪い面がありますから、地域移行で。それを分析して、いい面を伸ばして、改善すべき点は、今の担当の方一人に任せるのではなくて、みんなでやっていかなくちやならないことだなど思っている。</p> <p>最後に、郷州公民館のリニューアルオープンに携わった皆様に深く感謝申し上げたい。</p>
<p>寺田委員</p>	<p>守谷市立中学校部活動云々の一部改正する要綱について、1月定例については、これは後で、3月定例だと思ったが、取下げという措置をしたと思う。確認をお願いしたい。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>確認後、必要に応じて訂正いたします。</p>
<p>教育長職務代理者</p>	<p>教育委員になる前に点検・評価委員を2年やって、都合、多分10年ぐらい、この点検・評価に関わってきたので、年々改善されて、すごく見やすく分かりやすく、しかも去年からは、数値評価もたくさん多く取り入れて、点検・評価としてはどんどん良くなって、優れたものになっていると思う。他市と比較しても、全く遜色ないというふうに私は思う。</p> <p>昨年もし述べたところだが、教育に関する評</p>

	<p>価の場合、その評価指標ってとても難しいというふうには自分は思っており、具体的な事務事業をどうという指標で評価するのかというのは、絶対的に、テストの点数で言えば、みんな80点以上にするとか、そういう指標の置き方もあれば、平均点よりも良くするとかって若干相対的な、そういう指標の立て方もあるでしょうし、じゃあ目標としてどういう、何点にするのが正しいのかって言われても、それは、正解はなかなかないだろうというふうに思う。</p> <p>いずれにしても、成果指標と目標値の設定については、そもそも事業の目的に照らして、その事業の目的がどの程度達成できているのかというのを表す指標ですから、可能な限り、ストレートに、例えば校舎改修みたいなものであれば十何校を順次やりますと、目標は、最終的には100パーセントですけれども、今年度は10校をめどで何パーセントちゃんと終わるようにしますというようなストレートに分かりやすい指標とか目標を立てやすいですけれども、子供の変容であるとか、子供がどう変わったかとかというのを指標にするのは、間接的に何らかい目的を表現できるような指標にできればよしとせざるを得ないのかなというふうに思っている。</p> <p>椎名委員 今年度は各学校の評価を見る前に、評価の表中に、語句の注釈があったので、最近の教育用語は横文字が多いですから、いちいち自分でパソコンをもう1台立ち上げて調べながら読んでいったという経緯がありましたので、非常に読みやすくしていただいて感謝している。</p> <p>教育長職務代理者 議案35号「教育委員会の点検・評価結果報告書の提出について」採決する。</p> <p>全員賛成（原案のとおり可決した）</p>
--	--

<p>教育長職務代理者</p>	<p>議案第36号「守谷市学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改訂について」説明を求める。</p>
<p>給食センター長</p>	<p>本案は、守谷市学校給食におけるアレルギー対応マニュアルにおいて、8月教育委員会定例会での諮問の議決を受けまして、令和6年9月19日、先週ですが、学校給食センター運営委員会を開催しまして諮問しました。</p> <p>同日、異議のないことの答申を受け、守谷市学校給食におけるアレルギー対応マニュアルを改訂するものです。</p> <p>内容につきましては、8月の定例会で説明しましたとおり、主には、令和7年度からアレルギー対応のレベル4の代替食、こちらで新たに小麦を含む主食のみの代替食を行うため、マニュアル内の語句の追加調整及び申請書類の整理をさせていただくというものです。</p> <p>例えばなのですが、現在、ソフト麺ですが、小麦を含む代替食を行っていないため、御飯を家庭から持ってきてもらっているところを御飯を提供できるようにしようとするものです。</p> <p>運営委員会は、質疑が1件ありました。レベル4につながりますが、レベル1において質問がありました。</p> <p>現在、詳細献立表、喫食確認表を毎月、対象者に紙ベースで対応しているのかという質問です。</p> <p>毎月、レベル1では115人分の印刷をかけ、学校へ配布し、保護者へ渡していただいているところです。</p> <p>その後、レベル4のお子さんたちの保護者の皆さん、約40名いらっしゃいますが、こちらの方が詳細献立を確認して、喫食確認表に喫食の有無を記入して、学校教諭を経由して給食センターへ戻ってきていること、また、給食センターでは、返</p>

	<p>ってきた喫食確認表でエピペンを持つ重度のお子さんの分は目を通し、喫食に疑問がある場合は、学校を通し確認していただいている旨を回答しております。</p> <p>教育長職務代理者 議案第36号「守谷市学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改訂について」採決をする。</p> <p>全員賛成〔原案のとおり可決した〕</p>
<p>4 報告事項 教育長職務代理者</p> <p>学校教育課長</p>	<p>報告第11号「損害賠償額の決定及び和解について」説明を求める。</p> <p>本年6月に御所ヶ丘小学校において発生した桜の枝の落下事故につきまして、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分し、相手方と和解したことを報告いたします。</p> <p>8月定例会にて報告させていただいた事故のうち、8月時点で修理が済んでいなかったもう一台についての対応となっております。</p> <p>発生日時は、本年6月24日午後0時10分ごろ、事故発生場所は、御所ヶ丘小学校敷地内にある駐車場となります。</p> <p>相手方は、市内松並にお住まいの阿部託也氏となり、状況といたしましては、御所ヶ丘小学校敷地内の駐車場で、近接して植えられた桜の枝が朽ちて直下の乗用車2台の間に落下し、落下の際、それぞれ運転手席側のドアと助手席側のドアをこすって損傷させたというものです。</p> <p>今回、2台のうち最後の1台につきまして専決処分を行いました。</p> <p>学校から連絡を受けた後、当課においては、当日のうちに現場確認を行いまして、樹木剪定業務を委託している業者に事故内容を説明いたしまして、敷地内樹木の目視調査を依頼しております。</p>

	<p>す。</p> <p>また、翌日以降、現場の駐車場にカラーコーンと注意看板を設置し、駐車範囲を規制し、駐車場の後方に植えられた5本の桜の木全てについて、弱っている可能性のある枝剪定を全て終了しております。</p> <p>賠償の手続ですが、学校で起こり、市側に責任がある事故であるということから、全国市長会学校災害賠償補償保険対象事故として申請いたしまして、車両修理費等が20万円台ということから、市長の専決処分により損害賠償額を決定し、6番の和解内容のとおり、20万8、263円を相手方の指定口座に支払うということで和解いたしました。実際には、昨日、9月24日にお支払いすることができました。</p> <p>落下後、全ての学校の樹木剪定委託事業者に、葉が繁茂している現時点で担当校の敷地内樹木の目視点検と報告を依頼しております。</p> <p>また前回、河原委員から御指摘いただいたとおり、ソメイヨシノは老木になる時期が早いということで、今後、全校で樹木健全度調査を実施し、計画的に敷地内の植栽の剪定などを実施していきたいと考えております。</p> <p>椎名委員 桜はあまり切らないで、梅は切ったほうがいいのか、長い間のそういう伝統というか、それはあったんでしょうけれども、腐りやすいのも事実なので、どこまで切るか。</p> <p>もう一つ心配しているのは、雪の重みで折れるというのがあるのだが、枯れない程度にどこまで枝を落としていくかは、十分専門家をお願いしていくら保険といっても、まして子供、人に当たると大変ですので、本当にここまで心配していますよというのをどんどん出していただければというふうには思う。</p>
--	---

寺田委員	<p>前回の定例会について、1件なのかなと私は理解していたが、今回出ている案件も含めて2件だということだが、事故があったということ、報告、一件、こういう形でありますよと、早めに情報の提供等お願いしたい。</p>
学校教育課長	<p>申し訳ありませんでした。</p> <p>一応、前回、2台のうち修理が終了した1台について専決処分を行いましたという報告をして、もう一台も今後というような説明はしていませんでしたので、今後、気をつけたいと思います。</p>
教育長職務代理者	<p>子供も含めて、どこかでイチョウの木が倒れて死亡事故があった。イチョウの枝が落ちて。そういう事故にならないように、くれぐれもよろしくお願いしたい。</p> <p>報告第12号「学校給食センター運営委員会答申について」を議題とする。</p>
給食センター長	<p>教育委員会8月定例会において、学校給食センター運営委員会への学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改訂について諮問を議決していただきました。</p> <p>9月19日に学校給食センター運営委員会を開催し、答申を頂きましたので報告させていただきます。資料の答申書をお願いいたします。</p> <p>こちらのほうですが、読み上げさせていただきます。</p> <p>令和6年9月19日、守谷市教育委員会教育長、町田 香様。</p> <p>学校給食センター運営委員会委員長、平山麻理子。</p> <p>学校給食センター運営委員会の諮問について答申、令和6年9月19日付、守教委発第532号により、諮問のあった下記の事項について、原案のとおり異議なく答申いたします。</p>

	<p>記とありまして、1、諮問事項、(1) 学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改訂について。質疑については、議案で説明させていただいた1件となります。</p>
教育長職務代理者	<p>報告第13号「令和6年度守谷市議会9月定例会議会について(教育委員会所管分)」を議題する。</p>
教育部長	<p>議案第74号 令和6年度守谷市一般会計補正予算(第4号)につきましては、結論から先に申し上げますと、前回の定例会教育委員会で承認をいただきました内容で、変更なく御承認をいただくことができました。</p> <p>黒内小学校への北門設置工事に係る継続費の補正、それから次ページのスクールバス運行业務委託からALTの派遣業務委託の五つの債務負担行為補正の補正。</p> <p>また、歳入におきましては11ページ、こちらの地域部活動に係る県委託金増額に伴う補正。</p> <p>歳出のほうでは14ページ以降ということで、黒内小学校の北門設置に係るこちらは実施設計、それから正門門扉の改修費用、それと郷州小学校の敷地内の歩道の整備費用のほか、児童クラブ事業実績精算による国庫補助金の返還金、それから守谷交流館をこども療育教室に一時貸し出すための維持管理にかかる予算の組替え、さらには、中央と高野公民館への防犯カメラの設置費用の補正ということで、総務教育常任委員会及び本会議において、賛成多数により可決となっております。</p> <p>続きまして、今度は議案第62号の令和6年度守谷市一般会計歳入歳出決算認定の教育委員会所管分について御説明をさせていただきます。</p> <p>8月の30日から9月の1日までの2日間、決算予算特別委員会における審査が行われまして、議会の最終日に賛成多数で承認をいただいております。</p>

ます。

委員からは、審査の経過におきまして、年々事業費が増えている外国語教育推進事業、ALTやオンライン英会話に対しまして、評価のところ、外国語活動を楽しんでいる児童の割合が前年度に比べて7ポイント減少しているということに対して、その原因は何なのかというような質問がございました。

令和5年度から、オンライン英会話につきましては小学校にも拡大し、児童が対面で自分の気持ちを伝えるということがうまくできないといった状況に直面した結果であると回答しました。

また、教科担任制では多額の費用がかかっているけれども、成果をどう見ているのかというような質問があり、こちらにつきましては、学級担任の負担軽減や授業の質の向上、さらには、児童の学習意欲の向上につながっているということで、様々なところに効果が出ているというような御説明をしております。

次に、請願の内容ですが、こちら毎年出されている教職員の定数改善と義務教育費の国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願ということで、総務教育常任委員会の中では、請願の求めにある35人学級の早期実現については、守谷の場合、既に実現しており、改めて国に要望を求める必要はないのではないかななどの反対意見がございました。

また一方で、市の予算を投入して人的支援を行っている面もあるので賛成すべきと、意見は分かれたところではあるんですが、最終的には趣旨採択という結果となりまして、本会議においても、同様に趣旨採択というような結果となっております。

次に、専決処分の内容となります。

先ほども報告させていただきました御所ヶ丘小学校の駐車場においての桜の木の枝が朽ちて、

止めてあった教職員の車両を損傷させ、損害賠償額を払ったものであるということで、委員からは特に質問等はございませんでした。

さらに、教育委員会関連の工事関係が三つほどございましたが、こちらも全て可決となっております。

最後に、一般質問の内容について、簡単に回答の内容を御説明させていただきます。

今回の議会におきましては、前回より1名少ない15名の議員から通告がございまして、うち5名の議員から、教育委員会に関する質問がございました。

こちらの資料のほうは25ページから30ページ。こちらが議員からの通告内容で、黄色で色づけしてある箇所が教育委員会への質問の項目となります。

31ページ以降が質問に対する回答の内容になりますので、その概要につきまして御説明をさせていただきます。

初めに、通告2番の山本広行議員となります。36ページを御覧いただきたいと思っております。

議員から、守谷野鳥のみちのこれからについてと題して、野鳥のみちの現状や利用者の評価、それから学校教育でどのように活用されているのかといった質問がございました。

愛宕中学校生徒が野鳥の森少年団を結成し、散策路の整備に携わっていること、また、守谷の自然を学んだり生き物観察を行うなど、授業でも活用していること、さらには、市民ボランティアの方との共同作業が、外資系企業主催の中高生ボランティアスピリット賞で優秀賞を受賞したことなど、中学生たちの活動が高く評価されているなどを御紹介させていただきました。

次に、山田議員となります。資料のほうは46ページから51ページになります。

議員のほうからは、今回で3度目となる給食費

の無償化を求める質問となっております。

長引く物価高騰の影響を受け、学校に通わせる保護者の経済的負担を減らしたいとの思いからの質問で、小中学校において、入学から卒業するまでに就学に関してかかる費用はどれぐらいかかるのか。

また、全国の自治体の約3割が給食費の無償化に取り組んでいる現状から、守谷市でも、ぜひ給食費の無償化に取り組むべきであると、市の考えをお聞きしたいということで、最終的には市長から、給食費の無償については、国策として、国の施策として取り組むべきものであるということで、市が負担すべきものではないとの答弁をさせていただいております。

次に、椎名愛子議員となります。資料のほうは60ページからとなります。

椎名議員からは、校内フリースペースを利用する児童が児童クラブを利用する場合の登下校の課題とその対応についてと、教育現場の認識についてと題して、設置した目的や今後の展望等についての質疑があり、小学校は全校に配置がないため、自分の学校にフリースペースがない場合、設置済みの学校を利用できること、また、児童クラブでは、引き渡しにおける出欠確認をはじめとする安全確認を重要視しており、常にお預かりする児童の居場所が確認できるようにしていること。

設置の趣旨は、不登校だけでなく、何らかの理由で教室に入れない児童生徒が安心して登校し、社会性や協調性、自立性を培うスペースとなることを目指して設置していること、なるべく早く全校に設置したい旨をお答えさせていただいております。

また、議員からは、学校における働き方改革が目指すものについてと題して、教職員に対し取り組んでいるメンタルヘルスの取組内容やスクールボランティアバンクの学校での活用状況につ

いての質問があり、勤怠システムを活用した時間外勤務の把握や長時間勤務者に対する産業医との面談、さらには、毎年1度ウェブ上でのストレスチェックによる不調者の把握を行い、学校管理職との面談等も行っている旨を紹介させていただきました。

また、スクールボランティアバンクの活用については、学校からの実績報告では、令和5年度にバンク登録者の活用や登下校時の見守りなど、学校活動に関わった人数は延べ1,400名を超えている状況にあること、今後は、さらに学校と地域がよきパートナーとして相互利益につながるよう、地域で活動するサークルや団体、それから事業者等と連携を図り、学校の応援団を増やしていきたいと考えていることをお答えさせていただいております。

次に、7番の小菅勝彦議員となります。こちらは学校給食に関する質問となります。資料のほうは72ページから74ページになります。

議員からは、1日当たりの給食費の提供数や1食当たりの価格等の現状のほか、市内産野菜の調達割合や献立決定までの流れ、さらには、無償化が無理であれば、価格の抑制及び地産地消の推進を図るため、生産者への市補助導入等の提案がありました。市内には決まった時期に安定的に供給できる生産農家が少ないため、現状では難しい旨を回答させていただいております。

最後に、13番の首藤議員となります。資料のほうは77ページから88ページが質問の概要と回答の内容となります。

議員からは大きく2点、不登校問題と市内中学校の現状と今後についての質問があり、前者につきましては、不登校の人数とスクールソーシャルワーカー導入の効果、さらには、不登校対策を今後どのように進めていくのか質問がございました。

	<p>スクールソーシャルワーカーにつきましては、今年度から各中学校に1名配置し、児童生徒や保護者、それから教職員の相談支援、関係機関との連絡調整役として、対応件数は前年度に比べ着実に伸びていること、不登校対策を進める上で、学校に登校することをゴールとした支援だけでなく、校内フリースペース等の利用を含め、学校が児童生徒一人一人にとって必要な学びとなるよう支援していきたい、そうした意味からも、スクールソーシャルワーカーが児童生徒保護者に根気強く寄り添い、関係機関と連携を図りながら不安や悩みを少しでも解消できるよう、必要な情報を的確に届けていきたい旨を回答させていただいております。</p> <p>また、議員からは、守谷中学校の生徒数の増加が予測されるが、その対策についての質問がございまして、資料81ページのとおり、現時点での推計では、令和4年度の校舎の増築により受け入れが可能であること、仮に想定を上回る場合には、早期に未使用のプールを取り壊し、校舎増築により対応する旨を回答させていただいております。</p> <p>以上が、9月の定例会議会への対応の結果となります。</p> <p>なお、最終日に渡辺秀一議員から議員辞職が提出されまして、許可されております。</p>
寺田委員	<p>9月定例会につきましては、委員会にだけでなく、予算関係含め、全部可決ということなので、大変御苦労さまであった。</p> <p>委員会のみならず各部局と御協力をしながら、委員会の事務がよりスムーズな形で、効果的な形で成果が上げられるよう、引き続き対応の仕方、よろしくお願ひしたい。</p>
教育長職務代理者	<p>以上で議案及び報告事項が終わりました。</p> <p>次回定例会議の日程</p>

	日時 10月25日（金曜日） 午後1時30分 場所 市役所庁議室
--	--

会議録署名人	萩谷直美
--------	------